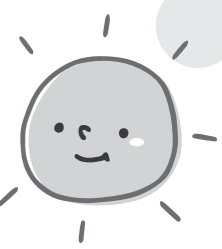


元気なまちかど



小学生が「3R」を呼びかける
壁画づくりに参加

クリーンセンター滋賀

甲賀町にある産業廃棄物管理型最終処分場「クリーンセンター滋賀」で8月11日、ゴミの削減、再利用、再生に取り組む「3R」を呼びかける壁画作成が行われました。子どもたちに、楽しみながらごみに対する意識を持ってもらおうと、滋賀県環境事業公社が初めて実施したもので、市内の小学生15人が参加しました。

参加者は、成安造形大学の学生がデザインした原画に、色を塗ったり、手形を押ししたりしてカラフルな壁画を完成させました。この壁画は、同施設内に掲示されます。



▲自由に壁画づくりを楽しむ子どもたち

熟練の技で子どもたちに快適な環境を
教育施設修繕奉仕活動

教育施設修繕奉仕活動

子どもたちに美しい施設で過ごしてもらおうと、市内の小中学校など42カ所を8月、教育施設修繕奉仕活動が行われました。

活動には、甲賀市商工会（建設業部会水口支部・土山支所建設部会・信楽建築同業組合）、滋賀県電気工事工業組合水口支部、甲賀市管工事協同組合から約80人の方が参加し、熟練の技で、電気、水道、左官、大工工事などが手際よく進められました。

新学期を迎えた子どもたちは、気持ちの良い環境で学習や運動に励んでいることでした。



▲手際よく体育用具室に仕切りを設置する会員（伴谷東小学校）

木の温もりを感じながら
地域材を活かした木工教室

地域材を活かした木工教室

地域材を活かした木工教室が8月23日、森林文化ホールで開催され、市内の小学生と保護者23人が小物入れ作りに挑戦しました。

甲賀愛林クラブの竹中島真博さんから指導を受けながら、紙やすりで磨いた木材にドリルで下穴をあけ、釘やビスを打って組み立てると、オリジナルの小物入れが完成です。

参加者らは、木の柔らかな手触りや温もりを感じながら、心を込めて丁寧な作り上げました。



▲力を合わせて作業をする親子

復活した水口かんぴょうで10メートルの巻きずし作り

今郷かんぴょう祭り

今郷かんぴょう祭りが8月23日、水口町の浄土寺で催され、市誕生10周年を記念して、地元産のかんぴょうで10メートルの巻きずし作りが行われました。

地域の活性化をめざし歴史調査研究や水口かんぴょうの復活に取り組む今郷好日会が主催し、地域の皆さん約70人が参加しました。

初めての挑戦で緊張感が漂う中、全員が協力して巻き上げ、出来上がった瞬間には、歓声と拍手が沸き起こりました。参加者は、「今ではすっかり忘れかけていたかんぴょうの味に感激」と舌鼓を打っていました。



▲10メートルのかんぴょう巻きに挑戦する地域の皆さん

五感を使って自然を満喫

甲賀市市民協働提案事業・いきものみつけ寺子屋

「いきものみつけ寺子屋」が8月12日、韓国の環境団体を招いて土山町で開催され、県内外や韓国から参加した約90人が、田んぼでの生き物観察や里山散策を通して自然の仕組みや命の尊さを学びました。

この催しは、いきものみつけファーム滋賀推進協議会が子どもたちの環境学習の場として毎月実施しています。

参加者は、田んぼの水路や畔で生きもの探しを楽しんだ後、自然に関するクイズを解きながら里山を巡り、葉の匂いや木の手触りを感じたり、音を聞いたりするなど五感を使って自然を満喫していました。



▲落ちたお茶の葉の匂いを確かめる子どもたち

特色ある教育の取り組みを全国へ

信楽高等学校一日体験入学と信楽焼の魅力発見

信楽高等学校一日体験入学と窯業への理解を深める催しが、8月21日と22日に開催されました。

同校では、昨年度から入学者を全国から募っており、現在県外から入学した5人の生徒が学んでいます。

この催しは、全国の中学3年生を対象に信楽高等学校地域支援協議会が実施したもので、県内外から約70人が参加しました。

一日体験入学では、模擬授業のほかタンブラーの絵付けや革細工体験が行われ、参加者は、特色ある授業内容に期待を膨らませていました。



▲「セラミック系列」で教材となるろくろの説明を受ける参加者